

2022年度 会員校代表者等交流会開催のお知らせ

～今、大学に求められる DX、数理・データサイエンス・AI 人材育成とは～

(産学官基調講演開催のご案内)

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

会員校の皆様におかれましては、平素から当協会の活動にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の交流会は、昨年の「今、各大学に求められるデジタル人材育成とは」を更に一歩進めた、「今、大学に求められる DX、数理・データサイエンス・AI 人材の育成とは」をテーマに開催いたします。

政府が2019年6月に決定した「AI戦略2019」によると、『日本国民にとっての新たな読み・書き・そろばんとして、日本の労働人口の25%に当たる1500万人に「数理・データサイエンス・AI」のリテラシーを身につけてもらう』という日本の教育を変える壮大な計画が発表されております。さらに2021年から始まった文部科学省の認定制度「数理・データサイエンス・AI」では、大学生、短期大学生や高専生全員に、文理を問わず初級レベルの数理・データサイエンス・AIの教育を課して、日常や仕事の中で使いこなす基礎的な素養を習得してもらうことを明確に目標として打ち出しているため、本年度の交流会でも文部科学省より担当者をお招きし、その詳細を伺います。

また、データ利活用やビジネス戦略、組織変革が、企業間競争力を左右している状況下において、急激なデジタル化が企業の変革(DX=デジタルトランスフォーメーション)を起しているために、経営陣・マネジメント層は、企業戦略として『デジタル戦略』を組み込まざるを得ない状況となっております。そのようなビジネスシーンの中で産業界が求めるデジタル人材については、現在北海道大学との連携等でご活躍の一般社団法人 CDO Club Japan 代表 加茂 純 氏をお迎えし、お話を伺います。

さらに、当協会の会員校からは、いち早く来年度データサイエンス学部を開設する京都女子大学の竹安 栄子 学長をお招きし、教育ビジョンや取り組み、開設までのご苦労などをお話いただき、会員校の皆様への情報共有と理解を深めていただきます。

最後になりますが、今回の交流会の企画が、今後会員校において「数理・データサイエンス・AI」教育を具体的に進めるうえでご参考になることを願うとともに、当協会の資格「データサイエンス・AI実務士(仮称)」の立ち上げにつながるように努めたいと考えておりますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

敬具

<お問い合わせ先>

一般財団法人全国大学実務教育協会事務局

TEL 03-5226-7288 FAX 03-3263-8633

E-mail : jaucb@jaucb.gr.jp

2022 年度会員校代表者等交流会

テーマ：「今、大学に求められる

DX、数理・データサイエンス・AI人材育成とは」

日 時：2022年11月11日（金） 10：00～12：15

会 場：アルカディア市ヶ谷 6階「霧島」

進行スケジュール

| | | |
|-------------|--|--|
| 10：00～ | 開会挨拶 | 司会・清水 一彦（全国大学実務教育協会副会長） |
| 10：05～ | 会長挨拶 | 森 征一（全国大学実務教育協会会長） |
| ◆基調講演①（30分） | | |
| 10：10～ | 「高等教育機関における数理・データサイエンス・AI教育とデジタル人材の育成」について | 文部科学省高等教育専門教育課 情報教育推進係長 高橋佳奈 様 |
| ◆基調講演②（30分） | | |
| 10：40～ | 「今大学に求められているDX、データサイエンス・AI人材の育成について」 | 一般社団法人 CDO Club Japan 代表理事&CEO 加茂 純 様 |
| ◆質疑応答（20分） | | |
| 11：10～ | ご参加者によるご質問・ご意見等をお伺いいたします。 | 司会・清水 一彦 |
| ◆休 憩（5分） | | |
| 11：30～ | 休憩 | |
| ◆事例発表（30分） | | |
| 11：35～ | 「データサイエンス学部」新設についての事例発表 | 京都女子大学 学長 竹安 栄子 様 (全国大学実務教育協会理事) |
| 12：05～ | 総括および閉会挨拶 | 司会・清水 一彦 |
| 12：15 | 終了 | |

※総合司会：全国大学実務教育協会理事 福井洋子

※交流会は上記会場において対面で催行いたしますが、遠方の方やご都合でご来会が困難な方には Zoom での配信も検討いたします。Zoom 配信をご希望される場合は、申込書フォームの Zoom 配信希望欄に「○」印を付してください。